みずさわ 本堂に響く囃子屋台の音色

平泉・中尊寺で「ひぶせまつり囃子」奉納演奏

中尊寺本堂で打囃子を奉納する演奏者たち

日高神社火防祭保存会（佐藤邦会長）による「ひぶせまつり囃子（はやし）」の奉納演奏が10月19日、平泉町の中尊寺本堂で行われました。この奉納演奏は、東日本大震災の犠牲者の供養と被災した沿岸地域の早期復興祈願、併せて平泉の世界遺産登録を記念したものです。

この日は、同保存会、日高囃子笛の会、日高囃子太鼓と三味線の会から総勢57人が参加。本堂で、屋台囃子の「つるべ井」「松の緑」「祇園ばやし」と、打囃子（うちばやし）（通称：トットコメ）の4曲を奉納しました。

同保存会の佐藤会長は「真心を込めて演奏させていただいた。追善供養にもなったと思う。今回、多くの人の協力があって奉納演奏ができた」と満足そうに話しました。

えさし リンゴを手に取り魅力堪能

江刺りんご収穫体験

江刺りんごサポーター収穫体験（岩手江刺農協りんご部会主催）が10月19日、同区玉里のりんご園などで行われました。この日は天候にも恵まれ、江刺りんごサポーターに登録している親子など約70人が参加。ブランドとして全国に誇れるジョナゴールドをもぎ取り、収穫の秋を肌で感じるひとときを過ごしました。

収穫体験後にはリンゴの試食なども行われ、参加者はリンゴの甘さに舌鼓を打ちながら、江刺りんごの魅力を再確認していました。

真っ赤に熟したジョナゴールドを収穫

いさわ 笑顔で暮らし続けるために

いさわ健康フェスティバル

達者の里「いさわ健康フェスティバル」（同実行委員会主催）が10月26日、胆沢区の健康増進プラザ悠悠館などで開催されました。

「みんなでつくるいさわ健康づくり」をテーマに、「保健」「医療」「福祉」を担う同館、まごころ病院、ぬくもりの家が一体となって実施した各種イベント。同病院の渋谷香織先生による健康講演会や運動体験コーナー、食体験コーナー、芸能コーナーなど、来場者は楽しみながら達者の里の取り組みに触れた一日となりました。

まごころ病院・渋谷先生の講話に聞き入る来場者

えさし 健やかな成長を祈りながら

ミュージアムフェア2013

えさし郷土文化館（相原康二館長）が11月3日、中善観音御開帳に合わせてミュージアムフェア2013を開催しました。入館料無料のこの日、同観音のご開帳記念式典が行われたほか、芋の子汁の振る舞いもあり、来場者は同館敷地内で栽培した芋の子を味わいました。

「一万年の祈り」と銘打った手型・足型の採取には、市内から9組の親子が参加。江刺区稲瀬の陶芸家・太田茂樹さん（58）の指導のもと、粘土状の板に願いを込めてわが子の手型・足型を刻んでいました。

粘土に足を押し付けて思わず笑顔の参加者

こころがわ 臨場感あふれる歴史絵巻

講談教室受講生のお披露目会

歴史講談サークル・奥州衣川青凜会（せいりんかい）（伊藤敏男会長）は11月4日、講談教室受講生によるお披露目会を衣川区日向の衣川歴史ふれあい館で開催しました。この講談教室には市内外から10人が受講。7月から3カ月間、テレビ会議システムを使い、奥州大使でもあるプロの講談師・宝井一凜（いちりん）さんが指導しました。

観客約40人を前に、初めて口演した前沢区の阿部幸子（ゆきこ）さん（58）は「奥州の魅力を伝えたいと思い受講した。気持ちよく話せた」と満足した笑顔を見せました。

張り扇で勢いよく釈台を叩く阿部幸子さん

おうしゅう 茶道を通しておもてなしを

グレーターシェパトン市長が来奥

姉妹都市であるオーストラリア連邦グレーターシェパトン市のジェニー・フーラハン市長とご主人のレオさんが11月3日から6日までの日程で来奥しました。これは、同市の友好都市である愛知県豊明市での式典出席のため来日したことに合わせて本市を訪れたもの。

11月5日には市国際交流協会を訪問。英会話教室受講者から「日高火防祭」など本市についての説明を英語受けた後、茶道を体験しました。ジェニー市長は、日本流の「おもてなし」に終始感動した様子でした。

お茶立てを体験するジェニー市長（右）と夫のレオさん

まえさわ 地名を百年後の森に託して

イロハモミジの森づくり

赤生津小学校と母体小学校の卒業記念植樹が11月6日、前沢区生母の「イロハモミジの森」で行われました。

これは、赤生津と母体の地名を未来に残し、伝えていくために、両校の6年生がイロハモミジの苗木を植樹したもの。ことしは児童16人を含め総勢約100人が参加し、苗木50本を植樹しました。作業を終えた山田真衣さん（母体小6年）は「標柱に自分の名前と将来の夢を書きました。苗木が成長するのが楽しみ」と達成感いっぱいの笑顔を見せました。

イロハモミジの苗木を丁寧に植樹する児童